

2022年2月10日

各 位

会 社 名 夢 展 望 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 堀 孝 子
 (コード：3185 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 総 務 人 事 部 長 足 苺 賢 司
 (TEL. 072-761-9293)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月15日に公表いたしました、「2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」において想定しておりました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想を修正することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売 上 収 益	営 業 利 益	税 引 前 利 益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
前回発表予想（A）	百万円 6,713	百万円 174	百万円 139	百万円 132	円 銭 10.78
今回修正予想（B）	4,988	△21	△98	△100	△7.34
増減額（B - A）	△1,725	△195	△237	△232	—
増 減 率（％）	△25.7%	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	6,019	△450	△509	△507	△41.46

※本記載数値情報は表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位切捨て小数点第1位まで記載しております。

2. 差異の理由

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）は、2021年4月5日にまん延防止等重点措置、4月25日に第三回の緊急事態宣言が出されて以降、2021年9月30日に緊急事態宣言が全面解除されるまでは、百貨店など多くの商業施設の休業や営業時間短縮、外出自粛により消費マインドが著しく低下しました。

当社グループでは期初より様々な形で収益構造改革を進めてきた結果、営業損益、当期損益共に期間を通して前年同月比着実に改善し、特に緊急事態宣言解除後の第3四半期では、第1四半期、第2四半期以上に大幅に改善致しました。しかしながら、利益確保を優先するためには売上至上主義を抜本的に見直しせざるを得ず、結果として大幅な減収となりました。また、損益水準についても10月以降、大幅な改善も、上期の外部環境の影響による想定以上の伸び悩み分を補填するまでの水準には至りませんでした。

以上の結果、売上収益・営業損益・税引前利益・親会社の所有者に帰属する当期利益、何れについても、期初の通期業績予想は下方修正をせざるを得ないとの判断に至りました。

以 上